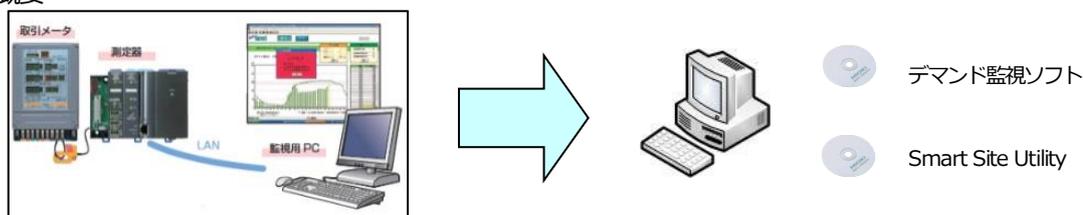


デマンド監視装置の監視用パソコンの移行手順書 (Smart Site Utility の場合)

本紙は、デマンド監視装置として運用しているパソコンを、別のパソコンにソフトウェア等を移行するための手順書です。パソコンのOSは、Windows 7から、Windows 10としています。

移行には、約 1~2 時間程度かかります。
 (旧パソコンに保存されている、ファイルサイズに依存します)
 移行中は、データが欠損するため、デマンド監視ができません。
 電力使用が少ない時間帯での作業を、お勧めいたします。

1. 移行の概要



【旧パソコン】	【新パソコン】
OS : Windows 7	OS : Windows 10
Ⅲ.記録の停止	I .IP アドレスの設定
Ⅳ.ファイルのコピー	Ⅱ.ソフトウェアのインストール
Ⅵ.ソフトウェアのアンインストール	Ⅴ.ファイルの貼り付け、動作確認

※ : 新・旧パソコン間で、操作が行き来します。

2. Windows10 に対応していない項目

– 1. デマンド監視(制御)ソフトでの印刷

デマンド監視(制御)ソフトで、メニューの [ファイル] – [印刷] での印刷ができません。

– 2. USB 警告灯 (オプション品)

※ : アイエスエイ社製 UX103 は、Windows10 をサポートしておりません。



3. ソフトウェアのサポート状況

対応 OS	Windows7		Windows10	
	32bit 版	64bit 版	32bit 版	64bit 版
デマンド監視ソフト 9688	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
デマンド監視ソフト 9688-01	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
デマンド監視ソフト 9688-30	○ Ver1.03 以降	○ Ver1.04 以降	△ Ver1.03 以降	△ Ver1.04 以降
デマンド監視制御ソフト 9689	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.24 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.24 以降
Smart Site Utility Pro 9768	○ Ver4.70 以降		△ Ver4.70 以降	

○：対応済

△：一部規制事項あり。詳しくはホームページの「サポート情報」を参照ください。

https://www.hioki.co.jp/jp/support/soft_windows10/

4. 事前に準備するもの（ご購入時の選定により、ソフトウェアの型番が異なります）

- 1. デマンド監視(制御)ソフト CD-R 1枚

※：お手元のCD-Rのバージョンが古く、インストールできないお客様は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

- 2. Smart Site Utility Pro 9768 CD-R 1枚

弊社ホームページより、バージョンアップファイルがダウンロードできます。

この機会に、ぜひ最新版へ更新ください。 <http://2300.hioki.jp/9768v.html>

■ダウンロードファイル

Ver 3.xxのバージョンはソフトウェアが異なるため対象外です。新規ご購入をお願いします。

Smart Site Utility Pro 9768

<p>日本語版</p> <hr/> <p>○V4.20以上 → V4.75(25.80MB)</p> <p>V4.12~4.20未満のお客様はこちらをご覧ください</p>	<p>英語版</p> <hr/> <p>○V4.73(21.95MB)</p>
<div style="border: 2px solid red; display: inline-block; padding: 5px 15px; background-color: #FFDADA;">Download</div>	<div style="background-color: #FFDADA; display: inline-block; padding: 5px 15px;">Download</div>

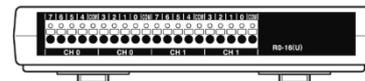
– 3. 外部メディア

設定ファイル等のデータを、移行するための外部メディア。(USB メモリや CD-R 等)

– 4. RO-16(U) リレー接点出力装置 (デマンド監視制御ソフト用)

ライフトロン社のホームページから、最新版のドライバをダウンロードしてください。(USB/I/O ドライバ)

<http://www.lifetron.jp/>



– 5. ネットワーク対応型警告灯 (オプション品)

※ : 「2354 デマンド監視オプション」機能を利用して、ネットワーク対応型警告灯を制御しているお客様は、最寄りの営業所までご連絡ください。



5. 新パソコンの準備(Win10)

– 1. 時刻補正

パソコンの時計を合わせてください。

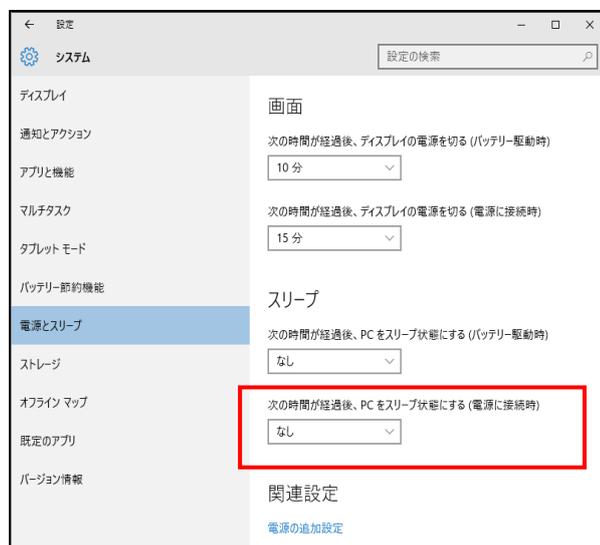
– 2. IPアドレス

新パソコンのIPアドレスを、設定してください。

(特にデマンド監視装置と、パソコンを1対1でLAN接続する場合)

– 3. 電源の設定

Windows の [設定] 画面で、[電源とスリープ] の項目内の PC をスリープ状態にする] を、[なし] と設定してください。



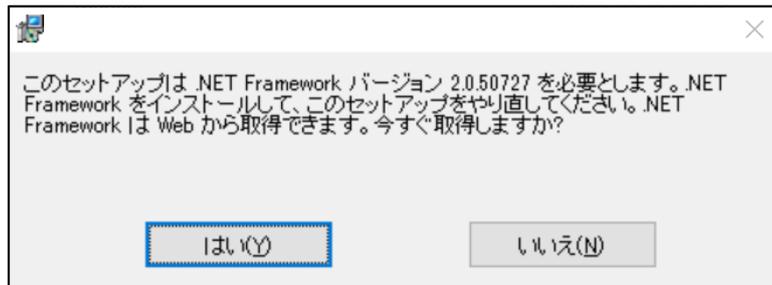
– 4. ソフトウェアのインストール

「Smart Site Utility」と「デマンド監視ソフト」をインストールします。

なお、Windows10 の場合、インストールには以下の注意が必要です。

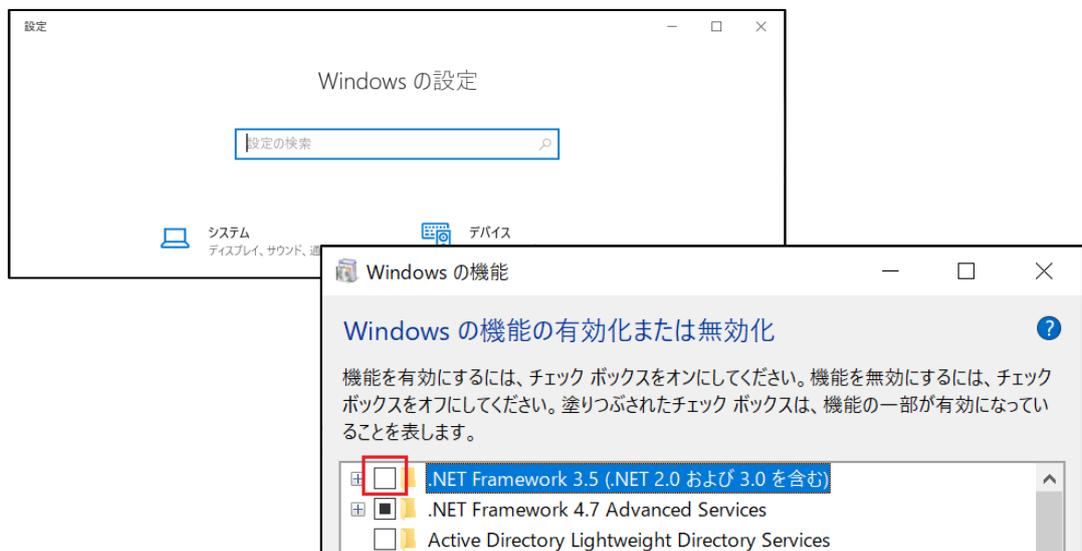
(1).各種ソフトウェアのインストール時、以下のメッセージが表示された場合は、

.NET framework3.5 を有効にする必要があります。



Windows の [設定] にて、「Windows の機能の有効化または無効化」を検索します。

.NET framework3.5 を有効とした後、各種ソフトウェアをインストールします。



(2).インストールフォルダを、デフォルトの **C:\Program Files** 以外に変更してください。

「デマンド監視ソフト」

C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker¥



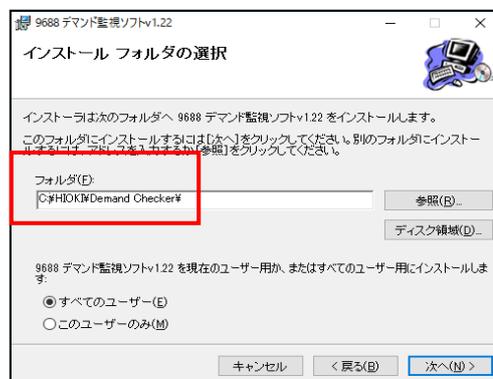
C:\HIOKI\Demand Checker¥

「Smart Site Utility」

C:\Program Files\SmartSiteUtility¥



C:\HIOKI\SmartSiteUtility¥

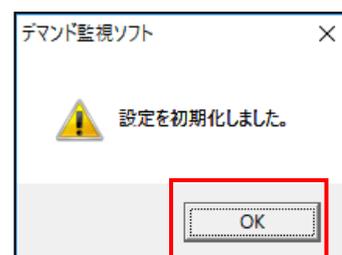


– 5. ソフトウェアの起動

インストールしたソフトウェアが、起動することを確認します。

「Smart Site Utility」と「デマンド監視ソフト」の両方を、必ず一度起動してから終了します。

なお、デマンド監視ソフトでは、「設定を初期化しました」とメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



– 6. ドライバのインストール

(1). デマンド監視ソフト 9688-30

UX103 以外の USB 警告灯を利用している場合、ドライバ等をインストールしてください。

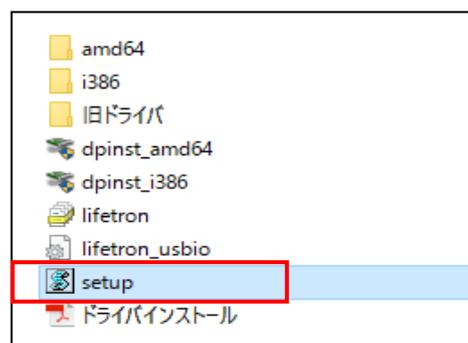
設定方法は下記、「デマンド監視装置 ソフトウェア設定マニュアル」の p.19 「8.警告灯 (USB タイプ)の設定」を参照ください。 http://2300.hioki.jp/demand_system.html

インストール後、パソコンと USB 警告灯を USB ケーブルで接続します。

(2). デマンド監視制御ソフト 9689

RO-16(U) リレー接点出力装置を利用している場合、ライフtron社のホームページから、ダウンロードした USB/I/O ドライバ内の「setup」を実行します。

インストール後、パソコンと RO-16(U)を USB ケーブルで接続します。



6. 「Smart Site Utility」での操作(Win7)

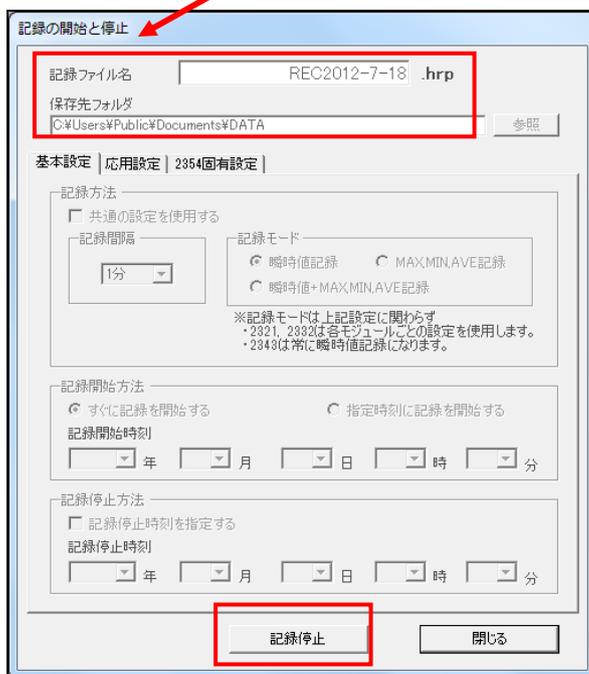
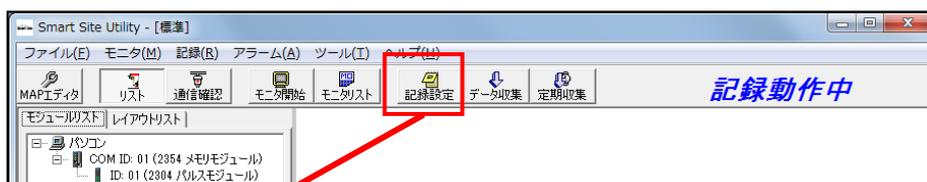
記録停止中は、データが欠損するため、デマンド監視ができません。
電力使用が少ない時間帯での作業を、お勧めいたします。

- 1. ツールバーの [記録設定] ボタンを押します。

[記録の開始と停止] 画面で、記録ファイル名と保存先フォルダを、下記に控えておきます。

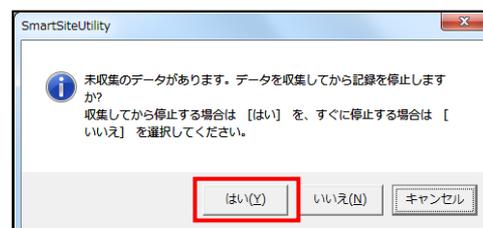
[記録停止] ボタンを押し、**一旦記録を停止します。**

未収集のデータがある場合は、収集してください。



記録ファイル名： _____

保存先フォルダ： _____



- 2. メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックし、「Smart Site Utility」を終了します。

(または、右上の  をクリックします)

「通信を実行中」といったメッセージが表示された場合は、同様に [はい] をクリックし終了します。

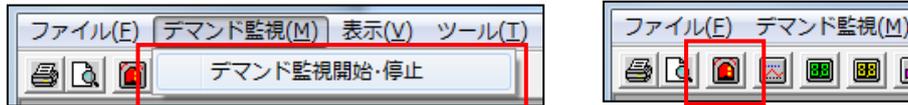
※：新・旧パソコンで同時に起動できませんので、必ず終了してください。



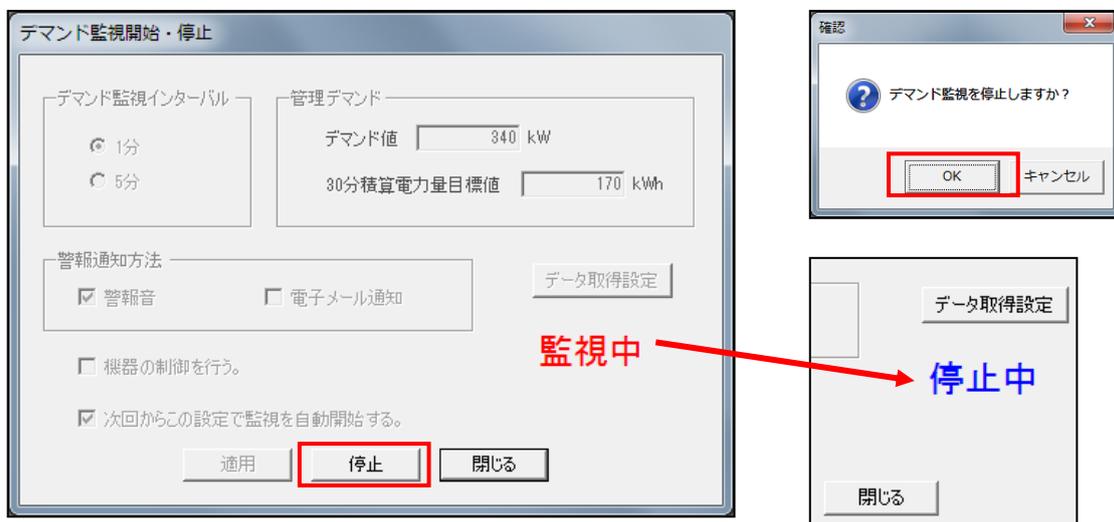
7. 「デマンド監視ソフト」での操作(Win7)

「デマンド監視ソフト」を終了します。

- 1. メニューバーの [デマンド監視] - [デマンド監視開始・停止] をクリックします。
(または、ツールバーの  アイコンをクリックします)



- 2. [デマンド監視開始・停止] 画面で、[停止] ボタンをクリックし、確認画面で [OK] をクリックします ([監視中] の表示が [停止中] に変わります)。
9688-01 の場合、全ての測定ポイントについて同様に操作します。



- 3. [閉じる] ボタンをクリックし、[デマンド監視開始・停止] 画面を閉じます。
- 4. メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックし、「デマンド監視ソフト」を終了します。
(または、右上の  をクリックします)

8. ファイルのコピー(Win7)

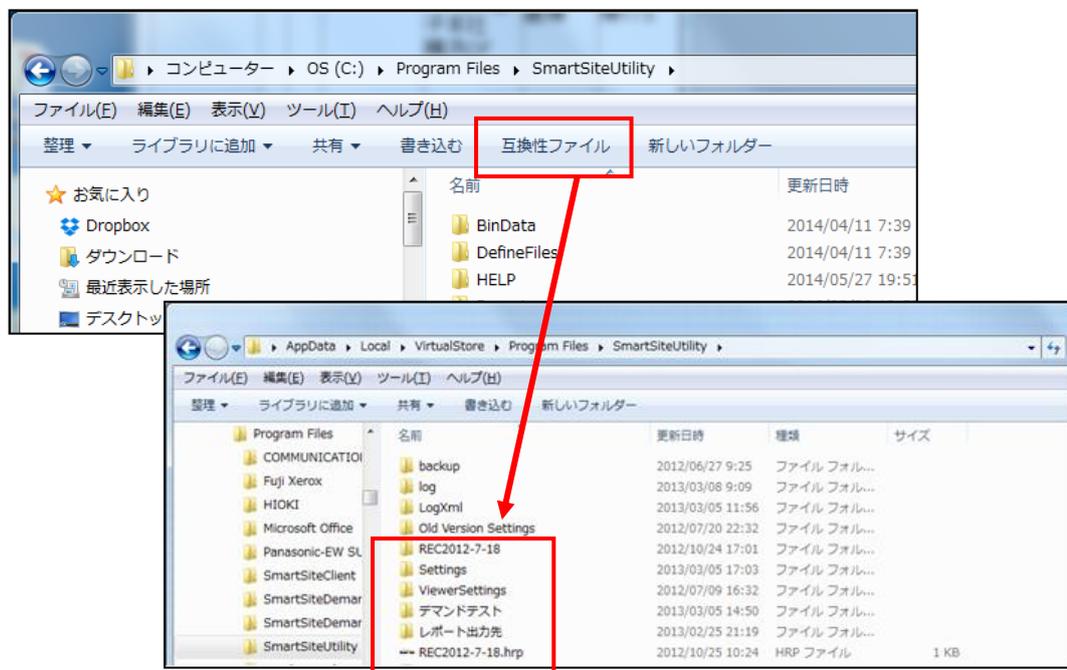
現在使用しているパソコン (Win7) から、フォルダおよびファイルをコピーします。

– 1. 「Smart Site Utility」

インストール先のフォルダ (通常は C:\Program Files\SmartSiteUtility) を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア (USB メモリ等) にコピーします。

※ : Windows 7 では、ユーザアカウント制御 (UAC) の設定によって、

C:\Program Files\SmartSiteUtility のフォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されないことがあります。その場合、**互換性ファイル** ボタンをクリックすることで、フォルダやファイルが表示されます。



- ① 「Settings」 . . . 機器の構成や測定条件などが保存された「フォルダ」
- ② SSutil.xml . . . 「Smart Site Utility」の設定に関するファイル
- ③ 「ViewerSettings」 . . . 「Smart Site Viewer」の設定に関する「フォルダ」
(③については、存在しない場合もあります)
- ④ RECxxxxxxxxx.hrp . . . 記録データ代表ファイル※
- ⑤ 「RECxxxxxxxxx」 . . . 記録データが保存された「フォルダ」※

※：記録データについて (④・⑤)

④・⑤の名称は、記録を開始する際、「Smart Site Utility」が、「RECxxxxxxxxxx」という記録ファイル名を自動的に付けますが、任意の名前に変更している場合もあります。

(xxxxxxxxxxの部分は、記録開始時の年/月/日/時/分を示す10桁の数値が入ります)

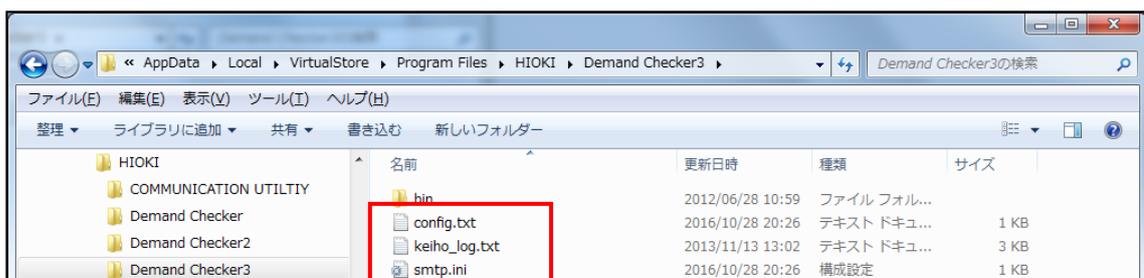
また、記録データの保存先も、任意に設定できるため、上記フォルダに存在しないことがあります。

「6.-1.」の「記録の開始と停止」画面で、控えた内容を確認ください。

- 2. 「デマンド監視ソフト 9688/9688-30」、または「デマンド監視制御ソフト 9689」インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker○）（○：末尾に数字がつく場合があります）を開き、以下のファイルを外部メディア（USBメモリ等）にコピーします。

※：– 1. 同様、上記フォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されない場合は
【互換性ファイル】 ボタンをクリックしてください。

- ⑥ config.txt . . . 設定ファイル
- ⑦ keiho_log.txt . . . 警報通知の履歴ファイル
- ⑧ smtp.ini . . . メールの認証設定ファイル



- 3. 「デマンド監視ソフト 9688-01」

インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker2）を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア（USBメモリ等）にコピーします。

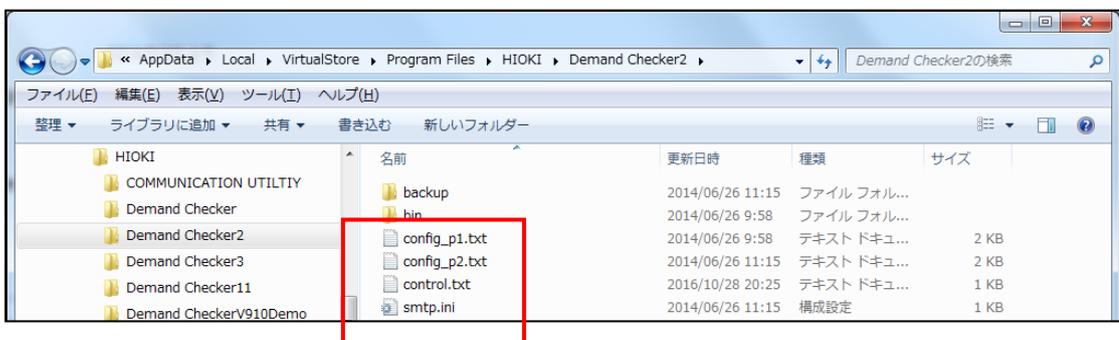
※：– 1. 同様、上記フォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されない場合は
【互換性ファイル】 ボタンをクリックしてください。

- ⑨ config_p1.txt . . . 測定ポイント 1 の設定ファイル※
- ⑩ config_p2.txt . . . 測定ポイント 2 の設定ファイル※
- ⑪ config_p3.txt . . . 測定ポイント 3 の設定ファイル※
- ⑫ config_p4.txt . . . 測定ポイント 4 の設定ファイル※
- ⑬ control.txt . . . 起動ソフトの設定ファイル
- ⑭ keiho_log.txt . . . 警報通知の履歴ファイル
- ⑮ smtp.ini . . . メールの認証設定ファイル

※：測定ポイントについて（⑨～⑫）

測定ポイントは、設定により⑨～⑫の4つ、すべて存在しないことがあります。

その場合、存在する設定ファイルをすべてコピーします。



－ 4. 日報・月報について

「Smart Site Viewer」のレポート作成機能を使って、日報・月報を作成している場合、上記手順以外の操作が必要となります。詳しくは、最寄りの営業所までお問い合わせください。



9. ファイルの貼り付け(Win10)

新パソコン (Win10) に、旧パソコン (Win7) でコピーしたファイルを貼り付けます。

– 1. 「Smart Site Utility」

(1). 設定ファイルの貼り付け (①～③)

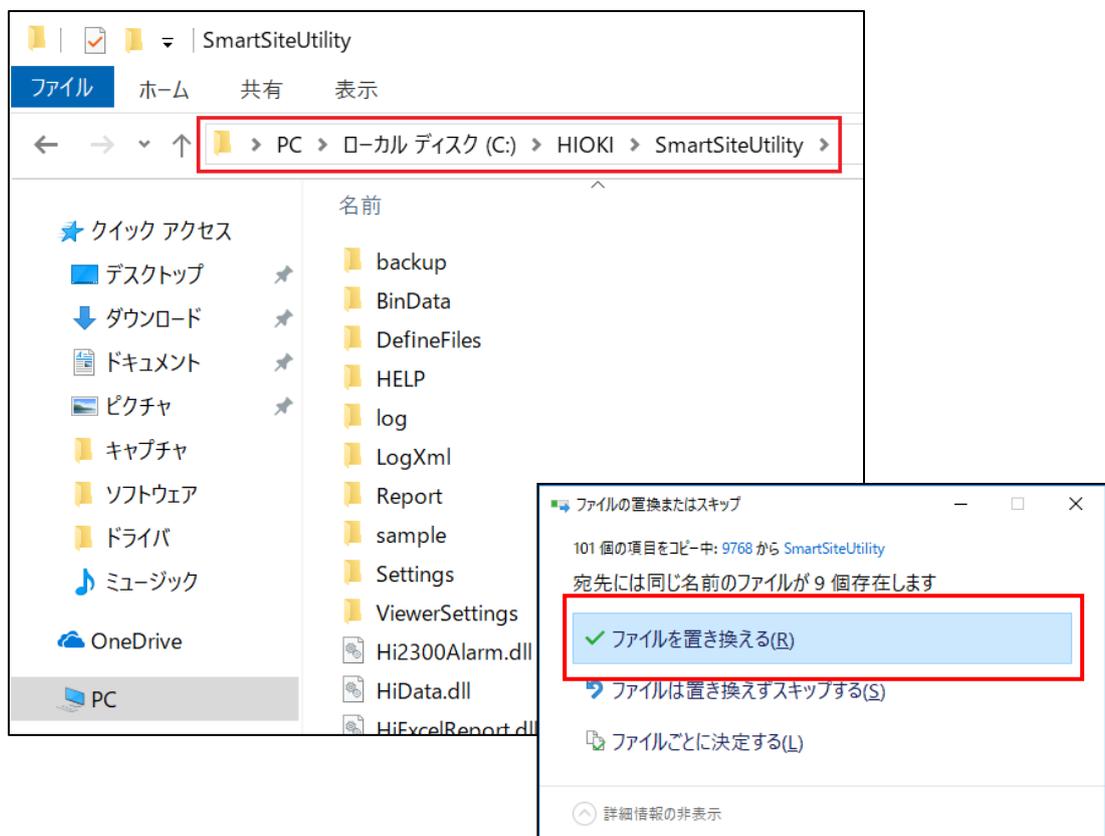
新パソコンのインストール先に、「8 – 1.」でコピーしたフォルダおよびファイル (①～③) を貼り付けます。

コピー元	貼り付け先 (Smart Site Utility のインストール先で変わります)	
	C:¥Program Files 以外の場合	C:¥Program Files の場合
① 「Settings」 ② SSutil.xml ③ 「ViewerSettings」	インストール先のフォルダ内 例 : C:¥HIOKI¥SmartSiteUtility¥	下記 b. 参照

a. インストール先が、C:¥Program Files 以外の場合

インストール先のフォルダ内に貼り付けます。

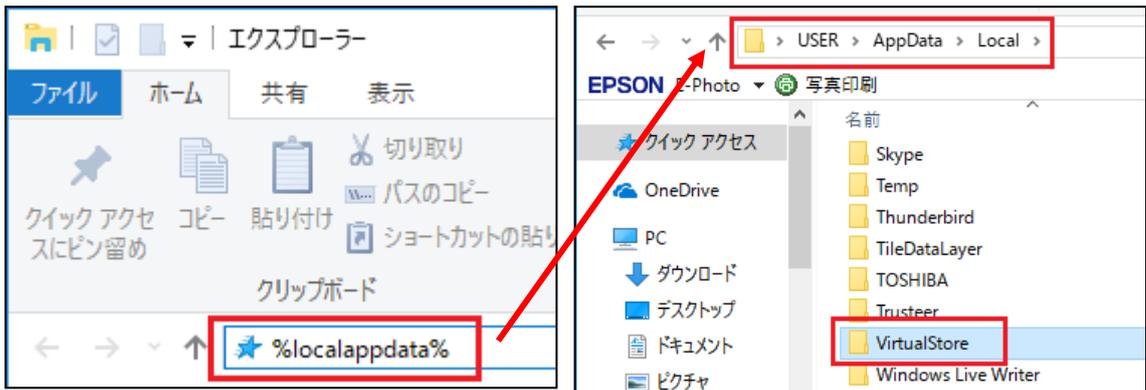
同名のファイルに貼り付けますので、すべて [ファイルを置き換える] を選択してください。



b. インストール先が、C:¥Program Files の場合

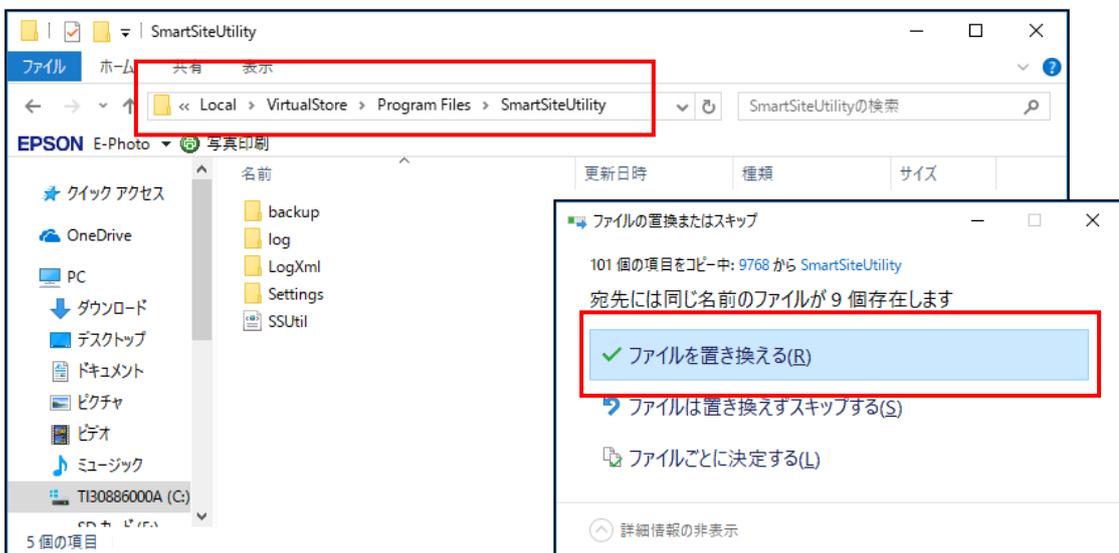
貼り付け先は、

C: ¥Users ¥ユーザ名¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥SmartSiteUtility
 ですが、「AppData」フォルダが隠しフォルダのため、エクスプローラーで直接開けません。
 まずは、エクスプローラーのアドレスバーに、「%localappdata%」と入力し実行します。



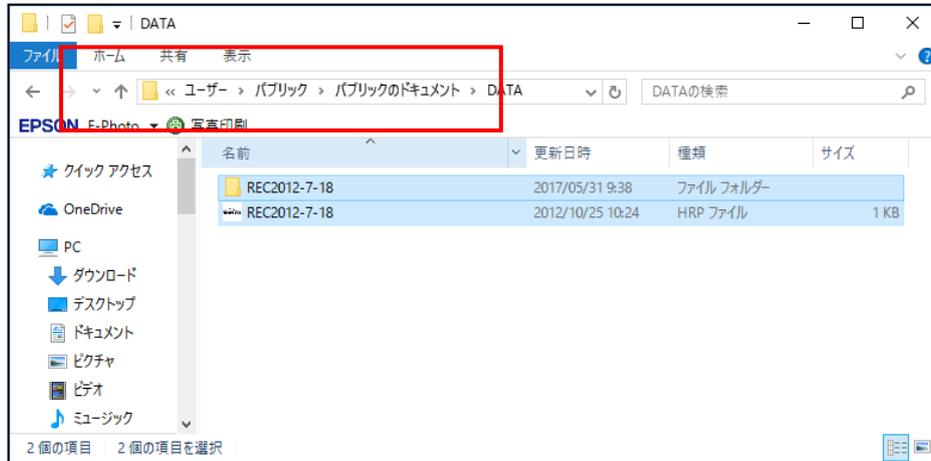
C: ¥Users ¥ユーザ名¥AppData¥Local¥まで移動しますので、「VirtualStore」内の
 目的のフォルダを表示させ、設定ファイルを貼り付けます。

同名のファイルに貼り付けますので、[ファイルを置き換える] を選択してください。

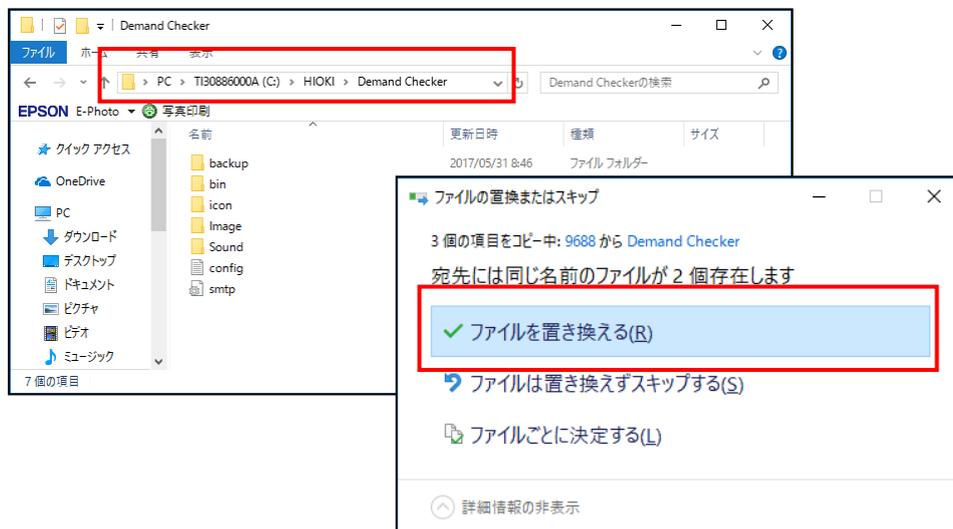


(2). 記録ファイルの貼り付け (④・⑤)

C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、新規に「DATA」などのフォルダを作成し、④・⑤の記録ファイルを貼り付けます。



- 2. 「デマンド監視ソフト 9688/96688-30」、または「デマンド監視制御ソフト 9689」
「5-4. (2).」で指定したインストール先 (例 C:¥HIOKI¥Demand Checker〇) に、
「8-2.」でコピーしたファイル (⑥~⑧) を貼り付けます。
同名のファイルに貼り付けますので、すべて [ファイルを置き換える] を選択してください。



– 3. 「デマンド監視ソフト 9688-01」

「5-4. (2).」で指定したインストール先 (例 C:¥HIOKI¥Demand Checker2) に、「8-3.」
でコピーしたファイル (⑨~⑮) を貼り付けます。

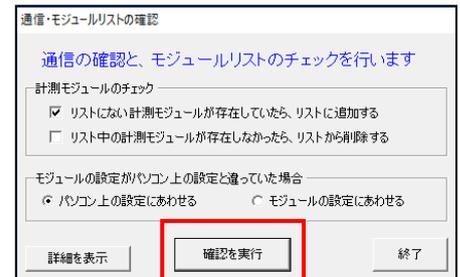
10. ソフトウェアの動作確認(Win10)

– 1. 「Smart Site Utility」を起動します。

(1). 通信確認

ツールバーの [通信確認] ボタンをクリックします。

[通信・モジュールリストの確認] 画面で、[確認を実行] をクリックし、モジュールと通信できることを確認します。(無線 LAN は OFF にしてください)



パソコンのセキュリティ環境により、[Windows セキュリティの重要な警告] 画面が表示されることがあります。この場合、[アクセスを許可する] をクリックしてください。

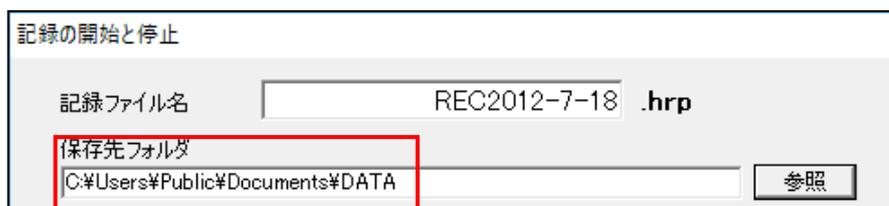


(2). 記録の開始

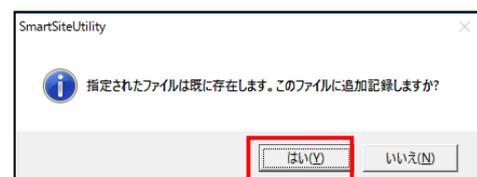
[記録設定] ボタンを押し、[記録の開始と停止] 画面で、[記録ファイル名] (④と同じ名前) を入力し、[保存先フォルダ] を設定します。

保存先フォルダは、「9 – 1. (2).」で記録データを貼りつけたフォルダを指定します。

(例 : C:\Users\Public\Documents\DATA)



[記録開始] ボタンをクリックし、右のような追加記録のメッセージ画面が表示されることを確認してから、[はい] をクリックします。表示画面とメッセージが異なる場合、記録ファイル名、または保存先フォルダを確認してください。



(3). 定期収集の設定

メニューバーの [定期収集] ボタンが、押されていることを確認します。

ツールバーの [記録] - [定期データ収集の設定] で、[30 秒] ごとに設定します。

(4). 動作確認

記録動作状態（[記録動作中] と青字で表示）と、定期収集が動作することを確認します。



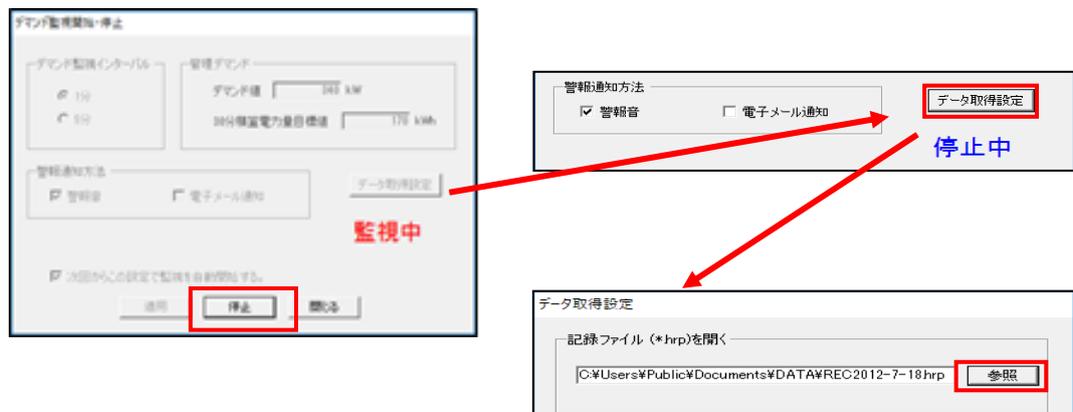
- 2. 「デマンド監視ソフト」を起動します。

(1). データ取得設定の確認

新パソコンではデータの保存先が変更されていますので、再度設定します。

ツールバーの  アイコンをクリックします

[デマンド監視開始・停止] 画面で、[監視中] と表示されている場合は、[停止] ボタンをクリックし、デマンド監視を停止します。



[データ取得設定] ボタンをクリックし、[データ取得設定] 画面で、[参照] ボタンを押し、保存先フォルダ中にある、記録ファイル (hrp ファイル) を選択します。

(例 : C:\Users\Public\Documents\DATA 内の hrp ファイル)

(2). デマンド監視の開始

[デマンド監視開始・停止] 画面で、[開始] ボタンをクリックし、[監視中] と表示されることを確認し、[閉じる] ボタンをクリックして、デマンド監視が動作することを確認します。ウィンドウ下部の [デマンド監視中]・[更新時刻] を、確認してください。



9688-30 は、[日付と時刻]・[監視中] の表示を確認します。

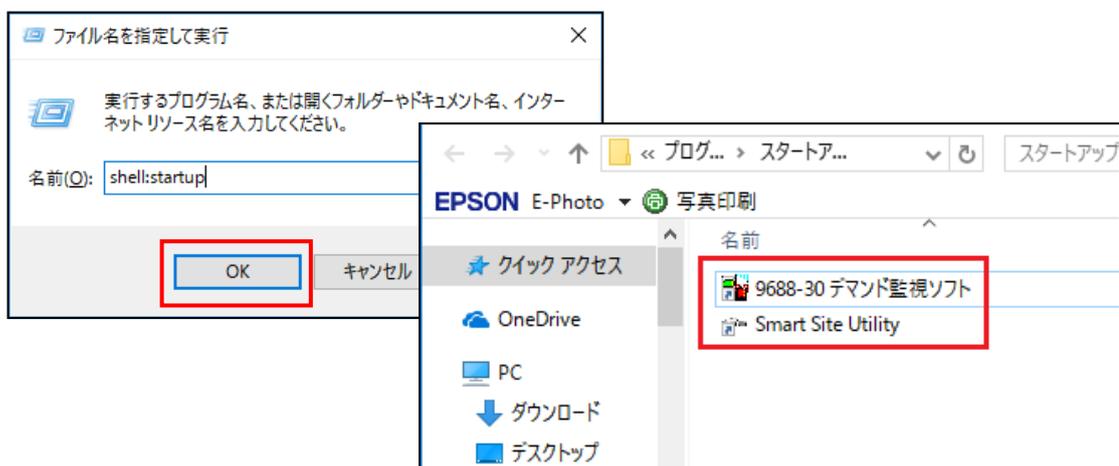


1.1. スタートアップへの登録(Win10)

「Smart Site Utility」と「デマンド監視ソフト」のショートカットを登録すると、パソコン起動時に自動的にソフトウェアが立ち上がります。

[Windows] + [R] のキーを同時に押すと、「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。名前の欄に「shell:startup」と入力し、OKをクリックします。

「スタートアップ」フォルダに、「Smart Site Utility」と「デマンド監視ソフト」のショートカットを貼り付けます。



1.2. アンインストール(Win7)

新パソコンにて、動作確認が完了しましたら、旧パソコンの「Smart Site Utility」および「デマンド監視ソフト」をアンインストールしてください。

また、スタートアップに登録している場合は、合わせて削除します。

バックアップのお願い

設定移設時に「8-1.」および「8-2.」でコピーしたファイルとフォルダは、CD-R等にコピーして大切に保管ください。万が一パソコンが故障した場合、この設定情報をバックアップしているとスムーズに復旧することができます。

【付録：移行後の確認】

項目	内容	チェック欄
Smart Site Utility Pro 9768	[通信確認] ボタンで、機器と通信できますか？	<input type="checkbox"/>
	メニューバーに [記録動作中] のメッセージは表示されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[定期収集] のボタンは押されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[時計補正] は設定しましたか？	<input type="checkbox"/>
	レポート作成機能を使った、日報・月報を作成している場合、「テンプレート」ファイルをバックアップしましたか？	<input type="checkbox"/>
デマンド監視ソフト	更新時刻は、PCの現在時刻に近いですか？	<input type="checkbox"/>
	警報通知方法に、チェックを入れてありますか？	<input type="checkbox"/>
	管理デマンド下げて、実際にデマンド警報が出力されることを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
監視用パソコン	現在時刻は正確ですか？	<input type="checkbox"/>
	電源の設定はしましたか？	<input type="checkbox"/>
	各種設定のバックアップは作成しましたか？	<input type="checkbox"/>

※：本紙で記載している会社名、および製品名は、それぞれ各社の登録商標もしくは商標です。